

March 1, 2023

NPO法人 多言語広場CELULAS



# News Letter

## Vol.7 続けることの大切さ



### やってみなくちゃわからない！

セルラスの活動を始めて丸3年が経ち、一人息子も小2になりました。3年前、講演会を聞いたときは「これだ！」と感じるものがあったのですが、家に帰ると「う〜ん...。」という状態。しかもメインの活動であるロールプレイは体験会（オープンセルラス）で初めてやってドン引きしていた私です。



それでも入会の決め手になったのは、**小5女子のプレゼンテーション**でした。こんな風に自分の子どもが人前で堂々と自分の考えを表現できるようになったら、どんなにいいだろうと思いました。子どものために買った高額な語学教材にも限界を感じていたし、私自身が前に勉強していたスペイン語も思い出せたらいいかな...。親子でできるのも魅力...。とにかくやってみなくちゃわからない！という思いで始めました。



## 思うようにいかない...続けられる？

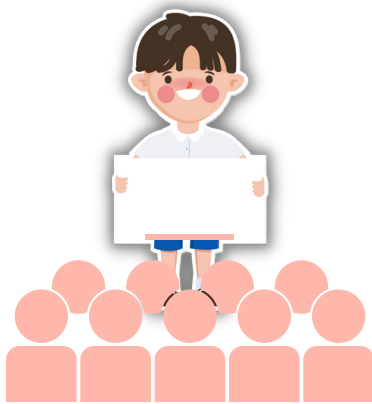
思い切って始めてみたのはいいけれど、  
『入会すれば自動的に何か成果があるという訳ではないなあ』  
と思い悩むようになりました。

一人息子は食いつきが悪いし、私は幼稚園の役員など  
いろんな用事が重なり、ピアザ※を休みがち、  
「これじゃ会費がもったいないんじゃない？」

※メンバーが定期的集まり、多言語活動を行う場

### それでも続けたのは...

「子供の語学のため」だけではなく、  
コミュニケーション力や人間力の大切さに  
私自身の意識が向いていき、  
そういった部分での成長がここなら  
バランスよく育てられるのでは？と、  
気づき始めたことが大きな理由かもしれません。



## いつの間にかできるようになっている！

世の中には母語であっても、人に自分の思いを  
伝えることが苦手な人はいっぱいいます。  
ですが、活動を続けていたら、いつの間にか  
**息子も人前でプレゼンテーションしているし、**  
みんなの輪の中でコミュニケーションを取りながら  
ロールプレイもやるようになってきています。  
人を育てることは、すぐに結果が出るものではないし、  
ことばやコミュニケーション力を育てるのも、  
もっと長い目で見てもいいかなと思いました。

今はセルラス全体のイベントで人と出会い、話し、気づきを得たり、  
身近な人たちが変化していくのを見るのが一番おもしろいです。  
そういう活動の中で**ハッと気付かされる**ことが多々あります。



先日『良かれと思い、先回りして子どもの世話を焼いてしまい、その行為が自分で考え見  
つける芽をつんでしまっていたことに気付いた』  
という話を聞きました。

私も子供に対して思い当たることがあったので、とても考えさせられました。  
そして、それをきっかけに、子どもの目線や思いに寄り添うにはどうしたら？と  
考え、行動するようになりました。  
こうやって、身近な人同士が影響を与え合って起こる変化は本物だなと思うし、  
私はこれからも変化を楽しみながら活動を続けていきたいと思っています。